



灯台

学 校 通 信

NO.146

令和3年3月26日

青森県立大間高等学校

わが学ぶ道は不滅ぞ

校長 森 田 勝 博



人の幸守り継ぐべし

校長室には、初代校長の山崎謙三先生から第十八代校長の山崎康浩先生の写真が掲げられており、偉大な先輩教師の無言の薫陶を受けている。第十代の新井田義成先

生とは、田名部高校で学年主任とクラス担任の間柄。第十一代の高橋興先生は、現在、青森中央学院大学の教授。県総合社会教育センター所長、文部科学省中央教育審議会の委員等を務められた教育委員会の大先輩。第十四代の明石進先生は、私が高校生時代に所属したハンドボール部の顧問。数学をご指導いただいた。現在、八戸工業大学第二高等学校の校長を務めている。第十七代の安達健夫先生は、田名部高校の公舎で隣同士。奥様と同僚として勤務し、教員、高体連、体育協会と公私ともにお付き合いいただいた。また、校長室に保管されている本校の卒業アルバムに、私の指導主事時代の上司で、総合社会教育センター所長で退職された坂本徹先生の若かりし姿を発見。毎年本校で実施している大学生とのワークショップは、坂本先生がNPO法人カタリバの活動にインスパイアされて始めた事業。県の重点に採択された時、いち早くこの事業に理解を示してくれたのが大間高校。ここで一緒にワークショップを実施し、学生たちと最北端で記念写真を撮ったのが昨日のことのよう。この他にも大間高校での勤務を経た後に県内各地で活躍され、青森県の教育をリードしてきた教職員のなんと多いことか。ここに勤務するものとして、とても誇らしく、深い縁を感じるとともに伝統をつなぐ責任の重さを感じている。

庭に咲く桐は 一入 匂うてふ

この夏は、コロナのために何処にも出かけられずにいたが、思い立って大間から佐井方面を南下してみた。久しぶりに仏ヶ浦、縫道石山を

見たいということもあったが、懐かしさもあり、道すがら磯谷、長後、福浦、牛瀧の各小中学校を見て歩いた。

青函連絡船がまだ就航していた頃のこと。縫道石山に登り海峡を行き交う船を眺めていると、福浦方面から運動会と思われるBGMや放送の音が山の上まで聞こえてきたことがあった。磯谷小中学校への狭い道を通り、入り口から校舎が見えてきたその時に、突然その情景が蘇ってきた。かつて、運動会や学芸会などは、集落全体の行事でもあり、そこに暮らす人々の歓声が学校の敷地に響き渡ったものである。北通りには、今でもその雰囲気が残っている。今年度、本校ではコロナ禍でいつも通りとはいかなかったが、学校祭、体育祭などの学校行事に、多くのご来賓、保護者、地域の皆様にご来場していただいた。自分子どもとしてだけでなく、地域の子どもとして育てきた伝統の表れであり、地域の方々このような学校に対する期待と愛情が、本校の大きな支えである。感謝の念に堪えない。

日に満ちて 津波なすとも

さて、東日本大震災から十年を経たこの三月。本校の令和二年度も終わろうとしている。県職員の宿命ではあるが、間もなく多くの仲間（教職員）と別れることになる。いずれも生徒一人ひとりに深く愛情を注いできた私の自慢の仲間である。どこの学校に行っても大間高校の生徒を忘れることなく、青森県の高校生のために、それぞれの学校にあった理想の教育を実践するに違いないと確信している。

そして四月からまた、大間高校の令和三年度が始まる。困難なことはいくらでも起こる。新教育課程が再来年度から開始され、高校教育も大きく変わる。しかし、なにがなんでもこの空間（学校）を教職員、地域の皆さんと一体となつて、希望溢れるものにして行かなければならない。ある書物にこんなことが書いてあった。「教育は、知識だけを伝える意味はない。教える者の生き方が学ぶ者を感化して、はじめてその成果が得られる。」と、さあ、どうする？卒業式が終わり、三年生のいない静かな校舎を巡回しながら、こんなことを考えている。



CONTENTS

- ◆日常の様子…P2～3
- ◆各学年主任より…P4
- ◆進路指導部より…P5
- ◆活躍の記録 他…P6

日常の様子

12/4 修学旅行代替行事

2 学年では行くことのできなかった修学旅行の代わりにの行事として旅行先で味わう予定だった料理を調理したり、旅行先の映像を観賞したりしました。修学旅行の中止は残念でしたが、生徒たちはみんな生き生きとした顔で取り組んでいました。



12/11 球技大会

今年度は冬休み日程調整やコロナ対策等を考慮して1日開催で実施しました。競技はバスケットボール、バレーボール、そして球技が苦手な生徒でも楽しめるようにかると3種目で行いました。今年の寒さが吹き飛んでいくくらい、いずれの競技も熱い戦いが繰り広げられ、応援にも熱が入りました。



試合結果（優勝チーム）

バスケットボール	男子	3 1 HR	女子	3 1 HR
バレーボール	男子	3 1 HR	女子	2 1 HR
かるた		1 2 HR		
総合優勝		3 1 HR		
総合2位		3 2 HR		



総合的な学習の時間 1/18 (3 学年) 総合的な探究の時間 2/2 (2 学年) 2/9 (1 学年)

総合的な学習の時間・総合的な探究の時間の最終報告会を実施しました。

研究課題は3 学年が自身の進路に関する内容、2 学年はSDG s に照らし合わせた地域課題について、1 学年は地域の活性化を図るために設けた各テーマとし、3 学年は個人で、1・2 学年はグループで学習を進めてきました。

これまで学習を続けてきた3 学年の生徒からは「4 月から自分が施設の一員として働いている姿を想像できた」「発表は緊張したが、伝えたいことを全部伝えることができた」など、将来や後輩のことを考えた感想があり、自学の力が身に付いてきたと感じています。1・2 学年の生徒も「目的を明確にする、必要な情報は調べる、問題の解決方法を考える」といった社会人の必要な能力を身につけて欲しいです。



1 年



2 年



3 年

1/20 後期生徒総会

今回は初めて校内放送で実施しました。放送室で話す生徒代表、各教室で資料に目を向け放送をしっかりと聞く生徒。今年度の各委員会、部活動の活動報告、生徒会費の中間決算報告等をスムーズに行うことができました。



1/29 進路指導体験発表会「3年生は語る」

進路の決定した3学年の生徒が本校の1・2学年の生徒や近隣の中学生に対して、進路決定に向けてのプロセスを紙芝居・フリップボードにまとめて発表しました。高校卒業後の多様な進路先や進路活動についての理解を深め、進路実現への意欲を高めることを目的として毎年実施しています。アンケートにこたえた生徒からは「これから具体的に何をしたら良いかわかった」や「将来のことを全く考えていなかったが、将来が楽しみになった」などの回答が多くみられ、進路実現に対する意欲が高められたと思います。



2/3 高校生模擬議会

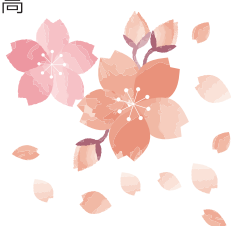


青森県議会本会議場にて本校1学年7名の生徒が高校生模擬議会に参加し、県議会議員の方々へ政策提案してきました。今回提案するまでに、生徒たちは授業以外にも毎日のように放課後に残って提案内容を考えまとめてきました。模擬議会での提案後には議長から直々に声をかけていただいたり、新聞記者からインタビューを求められたりする様子がみられました。今後も地域の一員として生徒とともに成長を続けていく存在でありたいと考えています。



3/1 卒業証書授与式

今年度は43名生徒が無事、卒業の日を迎えることができました。当日は終始笑顔で過ごす生徒の表情がみられうれしく思いました。新型コロナウイルス感染症の収まりがみえないなか、3学年の生徒は最後の学年を思い通りに過ごすことができなかったことでしょうか。しかし、そのなかで諦めずにやり遂げること、自分たちで工夫することなど多くの学びもあったことと思います。今後の人生楽しいことも辛いこともたくさん経験することでしょう。ちょっと先生たちに相談したい、話を聞いてほしいなと思うことがあったら気軽に大間高校へ来てください。教員一同心待ちにしています。これからも頑張って！



各学年主任より

人として

一学年主任 加澤 和八



大間高校へ入学してから、早いもので一年が過ぎました。一学年生徒三十七名が進級することができ、学年団教員一同、大変嬉しく思っております。学年に関わって下さった全ての方々に感謝申し上げます。本年にありがとうございました。

一年間を振り返ってみると、本当に様々なことがありました。その全てが、一人一人にとって「良いこと」であったり「悪いこと」であったりと、それぞれで思うことは違うでしょう。ただ、全てを受け止めて進んで下さい。全てが成長の糧になります。

私自身、この一年間を振り返った時に、良かったことや嬉しかったことはたくさんありましたが、その中でも特に印象深いことがあった日は、「二月一日」です。学年全員で私の誕生日を祝ってくれました。教員生活の新たなスタートを切った年であり、三十歳という節目を迎えた年。この年の誕生日は私にとって特別な日となり、「一生忘れない日」となるでしょう。人は、好きな人や大切な人のために行動を起こすことはできます。しかし、ただ一緒に生活する人や知らない人のために行動を起こすことは、なかなか難しいことであり、とても勇気のいることです。この先、様々な場面で、この中の誰かが誰かのために何かしらの行動を起こす機会が必ずやってきます。そんなときに、この日のように一歩踏み出せる人になってほしいと、改めて感じます。

勉強ができるできない、運動が得意不得意。確かに学生としての能力を計る上では、もちろん大事なこともかもしれません。しかしながら、「人としての価値」を計るものではありません。それよりも大事な「何か」があります。勉強や運動だけではなく、ぜひ、その「何か」を大切にして生きて下さい。きっとそれが、人として生きる上で大切なことだと思います。

「情けは人の為ならず」

誰しもが知っているであろう、この言葉。この後に続く言葉を私の尊敬する後輩が言っています。

「情けは人の為ならず 巡り巡って己が為」
一つ一つと、この大間高校で月日を重ねる生徒たちが、自分たちの考え方や行いによって、どのような「人」になっていくのか、楽しみでなりません。

卒業式

二学年主任 田中 章裕



今年も「灯台」の寄稿依頼を受けました。これを書いてみると、また一年が経ったんだなあ、と少々感慨深い気持ちになります。

私は子どもの頃から作文の類が苦手です。なので、去年はこれを書き上げるまでに二週間もかかりました。今年は一ヵ月かかっています。締め切り目前なので、そろそろ現実から目を背けずに書き上げます。

さて、これを書いている今日の日付は、三月一日（月）です。先ほどまで卒業式が執り行われていました。私が卒業式に出席したのは、教員としてはこれが九度目になります。思えばこれまで何度出席しても、気がつくたびに涙が頬を伝っていました。おそらく、この先ずっと、私が泣かない日はないでしょう。

しかし、自身の高校時代まで振り返ってみると、卒業式で泣いた記憶が全く無いのです。学生と教員とはそもそも立場が違うのですが、そんなことの原因を真面目に考えてしまいました。

まず、教員になってから泣くようになったのは、生徒の成長を知っているからです。長い時間を一緒に過ごしている中で、笑うことも、時には叱ることもあります。教員側でも、全てが良い思い出とも限りません。ですが、どんな経験も必ず生徒を成長させています。それらの記憶が、卒業証書を受け取る姿に重なって見えたとき、涙が堪えられなくなるのです。

次に、学生が涙する理由は、泣けなかった私には推測するしかありませんが、家族・友人・教員、関わった全ての人への感謝の気持ち溢れた結果ではないかと思うことです。（決して、泣かない人は感謝していないというわけではありません。涙と感謝は成立するが、感謝と涙とは限らない。化学反応式と一緒ですね。）泣き止んだ後の晴れやかな表情を見ていたら、そんな気がしました。

このように考えると、卒業式で泣けることって、とても素敵なことだなあ、と思います。私は自分の進路のことばかり考えていて駄目でしたが、二年生のみんなには来年は是非泣いてほしいです。そのために、これから始まる高校生活最後の一年では、感謝の気持ちを育ててください。当たり前のことほど、失って初めて気づくと言います。家族や友人が、当たり前のようにしてくれていることって何ですか。そういうことに気づける人でありましょう。そして一年後、みんな泣いて、笑って、大間高校を卒業していきましょう。

新しい扉を開いて

三学年主任 石倉 千穂



三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。卒業という晴れの門出を、みなさんと共に迎えられることを心から嬉しく思います。

この一年を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学校行事が例年と違った形で行われたことにより、戸惑いやもどかしさを感じながら活動した人も多いことでしょう。制限のある中で自分たちができることを考え、最上級生として行事の成功のために全力を尽くしたみなさんを、誇りに思っています。

「才能は努力の向こうにある」とこの言葉は32HRのホームルーム通信のタイトルであり、担任の今成哲先生の座右の銘です。努力と聞くと耳が痛い人もいるかもしれませんが、けれども難しく考えないでください。幸せになるために努力するのは、今まではみなさんの周りの誰かが、必要な物を与えてくれ、幸せを与えてくれたたかもしれません。でもこれから、自分で自分を幸せにできるのは自分しかありません。これからの長い人生、幸せになるための努力を決して怠らないでください。

私も今先生もみなさんが無事に卒業できることが、本当に嬉しくてそれと同時に寂しい気持ちでいっぱいです。私たちがこのような気持ちなのですから、保護者の方々は私たち以上にみなさんの卒業を心から喜んでいてます。みなさんは十八年間保護者の方々に大切に育ててもらったのです。保護者の方々への感謝を忘れずに、それぞれの新しい扉を開いてください。前へと進む中で後ろへ戻りたくなる時があるかもしれませんが、その時は少し後ろを振り返ってみてください。みなさんを応援してくれる人がたくさんいます。自分のために、そして応援してくれる方々のためにも新しい道を自分の力で切り拓いていってください。

最後に、今年の四月に担任が変わり、みなさんの中には不安や不満を感じた人もいたかもしれません。そのような中で、みなさんは私と今先生を受け入れようと努力してくれました。私も初めての学年主任として、不甲斐なさや未熟さを感じ落ち込むこともありましたが、でもそのような時はいつもみなさんの気遣いに励まされながら走り抜けた一年でした。本当にありがとうございました。

保護者の皆様、三年間のご協力のおかげで卒業の日を迎えることができました。本当にありがとうございました。お子様と共に過ごす日々を頂いた一人として、お子様のこれからの更なる活躍を願っています。

進路指導部より



ダイヤを磨く
進路指導主事
相内 拓

大間高校に赴任して五年が経った。私が赴任した四年前の三年生は七十二名いた。今年は四十三名。ふとした時に生徒が減ったのを実感する。生徒が少なく他の高校と同じようにできないこともあるが、生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導を行いやすいという利点もある。生徒の進路希望は多様でも、生徒数が少ないのでオーダーメイド式の個別指導を行うことができる。

今年度は一・二学年の進学希望者を対象に「学習メンター制」を実施した。メンターとは教育係のことで、生徒一人ひとりに対し担当教員がつき、受験勉強をサポートする。対象生徒は毎日、自分が前日勉強した内容をメンターに点検してもらい、助言を受ける。学習課題は生徒によって異なり、志望校の受験科目や個々の学力を踏まえて設定される。本校生徒は定期考査前を除き、自学時間がきわめて短い傾向があった。少しずついい。とにかく低学年次から勉強を継続する仕組みを作り、生徒の力を最大限に伸ばさなければと思った。

なぜそう思ったか。進路主任になって初めて、ある三年生が国公立大学の推薦入試で不合格になった。合格発表の日の涙が忘れられない。その生徒は一般受験で同じ大学に再挑戦したいと言った。一般受験とは五教科の学力試験で勉強ができないと合格できない。推薦入試でのつらい不合格を乗り越えて、それでもがんばるといふ生徒を応援してあげたいと思った。しかし当時の大間高校は生徒の一般受験を視野に入れた対策を取っていなかった。「うちはそ

ういう（勉強させる）学校じゃないから」という開き直りがあり、「国公立大学の一般受験は生徒に勧めない」というのが大前提だった。なぜなら「合格できるわけがないから」である。では「合格できるわけがない」ようにしてしまったのは誰の責任か。その生徒は必死で各教科の勉強をしたが、結局当初の志望校には合格できなかった。

その生徒は入学時の学力も高く、学習に對してきわめて真摯に取り組む生徒だった。きつと一年生から受験を見据えて勉強していたら、一般受験で志望校に合格できたと思っっている。私は「この高校は一人の生徒の可能性を二年半かけてつぶした」と思った。進路主任として、一人の大間高校の教員として、本当に申し訳なく感じた。この出来事がきっかけで、私は進学者の学力向上に強烈な課題意識を持つようになった。二年間かけてトライアンドエラーで対策を打ってきた。先ほど述べた「学習メンター制」もその通過点に過ぎない。大間高校からは、ほぼ十年間一般入試で国公立大学に合格した生徒はいなかったが、この三年間は連続で合格者を出している。昨年度から徐々に手厚くしてきた公務員試験対策も、似たような動機で着手したものだ。

公務員に関しては生徒が自力で受験勉強するのが当たり前だったのを、進路部が全面的にサポートするようにした。一次合格率は二割から八割へと格段に上昇した。「子どもはみんな磨けば光るダイヤモンドの原石。磨かなければただの石。」私がこの学校で大事にしてきた言葉だ。身近に図書館も大学も博物館もないような地域では、教員こそが最高の文化環境だと何かに本で読んだ。生徒の学びに役立ち、確かに生徒を伸ばす教員でありたいし、それが生徒・保護者・地域への誠意だと感じている。

最後に保護者の皆様へ。一年間、本校の進路指導へのご理解やご協力、誠にありがとうございました。

令和2年度卒業生 進路先一覧

		男	子	小計	女	子	小計	合計		
進 学	国公立大	青森公立大学経営経済学部経営学科			1	弘前大学人文社会科学部文化創成課程			1	2
	私立大	弘前学院大学社会福祉学部社会福祉学科			1	東北生活文化大学家政学部家政学科健康栄養学専攻 八戸学院大学健康医療学部看護学科 柴田学園大学生生活創生学部こども発達学科			3	4
	短大	宮古海洋技術短期大学校海技士教育科海技課程専修科			1	函館短期大学保育学科 青森中央短期大学幼児保育学科			2	3
	専門学校	青森県立青森高等技術専門学校環境土木工学科 仙台リゾート＆スポーツ専門学校スポーツトレーナー科 北海道医療専門学校薬業学医薬品販売コース 仙台カフェ・パティシエ＆調理専門学校調理師科 東北電子専門学校情報ビジネスコース 大原簿記公務員情報医療専門学校函館校法律行政1年生学科公務員コース アレック情報ビジネス学院公務員科			7	北海道中央調理技術専門学校調理技術専攻科 原宿ベルエポック美容専門学校トータルビューティー科 駿台外語＆ビジネス専門学校韓国語学科留学コース 仙台ビューティーアート専門学校美容科ヘアスタイリストコース 窪田理容美容専門学校美容科			5	12
就 職	県内	青森総合警備保障株式会社 株式会社アクロス 社会福祉法人青森社会福祉振興団（みちのく荘） 有限会社北動工業 横浜漁業部			5	株式会社J－POWERビジネスサービス大間支社 社会福祉法人吉幸会 特別養護老人ホームしおさい岬 倉石ハーネス大間事業所 グループホームおおま荘 六ヶ所エンジニアリング株式会社			4	9
	県外	株式会社全日警 株式会社ENEOSウイング 株式会社キタセキ			3	株式会社タカネ風土 医療法人博報会 老人保健施設のこし 株式会社大宿 有限会社山藤ネットサービス 株式会社大正園			5	8
	公務員	大間町役場 下北地域広域行政事務組合消防職員 陸上自衛隊一般曹候補生 陸上自衛隊自衛官候補生			4	海上自衛隊自衛官候補生			1	5
	合計	男子（在籍22人）			22	女子（在籍21人）			21	43

— 6 —